

# 事業報告

2014年度（2014年4月～2015年3月）

---



Ohmi Network Center

淡海ネットワークセンター

公益財団法人 淡海文化振興財団

## 事 業 概 要

当財団は設立以来、様々な分野における県民一人ひとりの主体的で自由な意思による社会活動を支援してきたところである。2011年4月に公益財団法人に移行して早5年が経過し、これまで以上に、ガバナンスや透明性の向上を目指した組織の運営を図るとともに、市民活動団体を総合的に支援する組織として「情報提供」、「組織基盤強化」、「市民活動支援」、「人材育成」、「未来ファンドおうみ」の5本の事業を柱に、様々な主体のネットワークによる地域づくりの促進に努めてきたところである。

平成26年度も地域や社会の課題解決に自主的に取り組むNPO（民間非営利組織）・市民活動団体の支援、さらには、NPO、自治体、企業、教育機関など、さまざまな組織や団体とのネットワークを広げ、協働による地域づくりの支援活動を行ってきたところである。

近年の「NPO法の改正」や「新寄付税制」の成立により、NPOをとりまく環境が大きく変化する中にあって、財団の基盤強化や情報公開への積極的な取り組みを行うなど、より県民に身近な存在としての役割を果たしていくことが期待されている。

平成26年度の取組としては、公益財団法人のメリットを最大限を生かし、地域への想いを寄付として受け入れ、市民活動を支援する「未来ファンドおうみ」の新たな展開、NPOと企業など多様な組織との連携を図る「ネットワークの促進」、地域プロデューサーの育成を目指す「おうみ未来塾」の運営に努めてきた。

特に、税額控除団体のメリットを最大限生かしたファンド事業の展開やセミナーの開催、未来ファンドおうみニュースレターの発行を行うなど、寄付文化の醸成にも努めた。

また、県からの委託により、「女性のNPO活動応援事例集」の作成や女性社会参画支援調査を実施したほか、財団の新たな経営指針となる新中期計画（2015～2019）の策定にも鋭意取り組んだ。

## 1. 情報提供事業

### ①情報交流誌「おうみネット」の発行

センターの事業、市民活動に関する動き、意見・提言、活動団体の活動情報などを掲載する「おうみネット」を発行した。

発行部数 各1万部、A4版8頁、配布先 2,180カ所 ※2

号数 発行月	「特集」のテーマ	表紙
No. 90 14年7月	地域の空き家でつくる新しい地域づくり ～古民家の活用とまちづくり～	
No. 91 14年10月	地域の魅力を発見し、地域を活かした文化をつくる ～自分のまちの魅力に気づいていますか～	
No. 92 14年12月	他人事ではない{犯罪被害} ～被害者に寄り添う支援～	
No. 93 15年3月	働く女性の応援NPO ～子どもを産んでも当たり前に働き続けられる社会 を作るために～	

### ②未来ファンドおうみニュースレターの発行

市民の想いを込めた寄付を市民活動への助成につなぎ、おたがいさまで支え合う、未来ファンドおうみから、助成採択団体の情報、ファンドレイジング事例など寄付文化を育むことを目的に発行している。

発行部数 各1万部、A4版4頁、配布先 2,180カ所

号数 発行月	「ファンドレイジングの小箱」・「未来ファンドおうみ応援団」	表紙
No. 11 14年10月	寄付を文化に 多文化共生社会推進のための新基金を開設	
No. 12 15年3月	寄付を文化に 未来ファンドおうみ「びわ湖の日基金」にご寄付いただきました	

#### ※2 刊行物の配布先

市民活動団体、個人、行政(県、市町)、社会福祉協議会、図書館、公民館、大学、高校、銀行、郵便局、他府県のNPOセンターなど

### ③インターネットの活用

センターのホームページ・ブログを通じて、センターの事業や市民活動団体の情報発信を行った。

ホームページ	アクセス数	17,294件 前年比 97.9% 47件/日
	ページビュー数	43,928件 前年比 93.8% 120件/日
ブログ	アクセス数	10,373件 前年比 69.4% 28件/日
	ページビュー数	26,041件 前年比 71.9% 71件/日

### ④メールマガジン

#### 「おうみネットe～マガジン」の発行

無料メーリングリストを利用して、市民活動団体に月3回程度、イベント、助成金、センター事業等の情報提供を行った。

・配信回数 37回(第377号～413号)

・配信先 957アドレス

・内容 イベント情報、助成金情報、センター開催事業など

### ⑤活動団体データベースの整備

照会対応や情報提供への利便性、センターのサービス向上を図るため、各担当者が個々に使用していた関係先のデータや新聞データ、さらには、これまでの相談・指導等の経過等について一元的に蓄積・管理するシステムを継続運用した。

### ⑥情報・資料の収集と閲覧、貸出

地域づくり情報、人情報、活動団体情報、国や自治体の施策情報、助成団体情報などを収集・提供とともに、図書および雑誌の閲覧・貸出を行い、広範な市民活動関連の情報発信拠点として活動した。

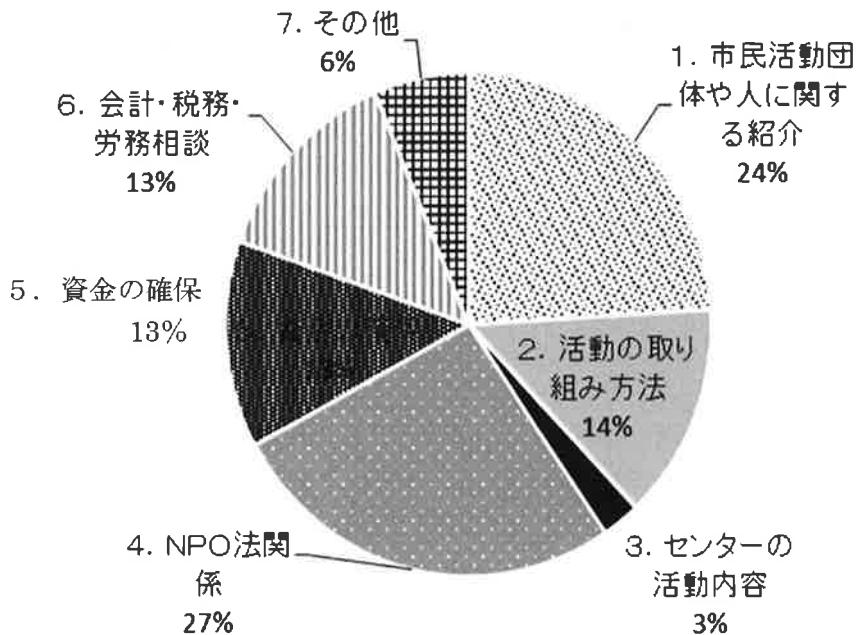
## 2. 市民活動組織基盤強化事業 (1)組織基盤強化事業

### ①各種相談業務、各種講座、ふらっとルーム等の運営

各種相談			各種講座	
一般相談	助成団体サポート	市民事業化相談	税理士個別相談	登記ミニ講座
相談件数 158件	対象団体 13団体	団体数 1団体	開催回数 4回	開催回数 1回
相談人数 181人	面談回数 21回	面談回数 2回	参加団体数 8団体	参加者 6人

ふらっとルームの運営		
ワーキングコーナー	情報ボックス	図書コーナー
利用件数 530件	利用団体 57団体	利用者数 695人
利用者数 749人		

### ※相談内容内訳



### ②他団体との連携

参加 24団体(内NPO中間支援組織は19団体)

■NPO支援センター情報交換・意見交換会

■市民活動支援関係県域団体連絡・調整会議

①NPO向け講座の開催

日程・場所・参加者数	テーマ・講師・概要
<p>2014年7月12日(土) 13:30~16:40 アーブしが3階 参加者:26名</p> <p>2014年7月18日(金) 13:30~16:40 米原公民館研修室2AB 参加者:32名</p> <p>講師:税理士横井昭次さん (横井昭次事務所)</p>	<p>「NPO会計初級講座！」 日常の仕訳、科目、領収書保管等の基礎を学びましょう。」</p> <p>本講座は、日常の仕訳、科目、領収書保管など会計の基礎を学ぶことを目的に開催しました。アンケートの回答では、単式簿記でやっているが複式に移行していく必要があったので参加した、会計処理を日々することが大切と思っていたが時間がなくてできない、中級・上級とクリアしてNPO会計に強くなりたいという前向きな声、税務に関する講座開催への要望もありました。</p> 
<p>2014年12月18日(木) 13:30~16:40</p> <p>草津市立まちづくりセンター 309会議室</p> <p>参加者:26名</p> <p>講師:税理士横井昭次さん (横井昭次事務所)</p> <p>社会保険労務士 猪俣広一さん (長等労務管理事務所)</p>	<p>「日常の税務、労務のスキルアップしよう！！」</p> <p>本講座は、団体での税務、労務処理がより適切に行われ、市民や支援者からの団体への信頼が増し、さらなる支援につながることを目的に開催いたしました。講座では、有給スタッフを雇う団体にとって重要な日常的な税務、労務手続きについて専門家よりご説明いただきました。当日、まちづくり協議会関係者の方7名の参加がありました。アンケートの回答では、指定管理を受けるために受講や、労務について勘違いをしていた、具体的な事例から学ぶ労務・税務講座を求める声がありました。</p> 
<p>2015年3月25日(水) 13:30~16:30</p> <p>米原公民館研修室2AB 参加者:15名</p> <p>2015年3月29日(日) 13:30~16:30</p> <p>草津市立まちづくりセンター 301会議室 参加者:18名</p> <p>講師:税理士横井昭次さん (横井昭次事務所)</p>	<p>「複式簿記の入門と 信頼される決算書」</p> <p>本講座は、会計ソフト購入するまでに至らない団体を対象とし、複式簿記の基礎と正しい決算書を作成できる方法を学び会計実務に活かされることにより、団体運営の組織力を上げ、信頼度や団体への支援につながることを目的に開催する。講座では、日常の処理から決算書作成までの一連の流れを、エクセル使用を想定した演習に取り組んでいただきました。アンケートの回答では、決算準備のためや、会計を頼まれたが未経験なので今回学ぶ機会がありよかったですという声がありました。</p> 

## 2. 市民活動組織基盤強化事業 (2)市民活動支援事業

### ①協働サロンの開催

さまざまな分野で活動するNPO同士の出会いや企業との出会いを提供し、互いの連携、協働を促進するために協働サロンを開催した。

日程・場所・運営体制・参加者数	テーマ・講師・概要
<b>第一回</b> <b>2014年5月21日</b> <b>(水)</b> <b>15:00～17:30</b> <b>県民交流センター</b> <b>204会議室</b> <b>後援:滋賀県</b> <b>参加者数:30名</b>	<p><b>社会的課題の解決に活用するソーシャルビジネスへの期待</b>  ～市民も企業も行政も一緒に取り組むビジネスで課題を解決する仕組みとは～</p> <p>講師:大室悦賀(京都産業大学准教授)  仲筋裕則(京都市産業観光)局  ソーシャルビジネス(SB)の事例を通して、福祉、貧困農村や地域社会の活性化、環境など社会に存在する課題を、正当な対価を得て解決する事業を学んだ。  収入を得る経済活動と理想を実現する社会活動を両立させ、事業を持続することが求められているので、阿蘇市や水俣市で始まるソーシャルビジネスの取り組みや、全国の事例を参考に、そこで成功している秘訣、解決している事例を学んだ。  視野を広げることの大切さやネットワークの大切さに気づいたというアンケートの声があった。</p> 
<b>第二回</b> <b>2014年7月11日</b> <b>(金)</b> <b>13:30～16:45</b> <b>コラボしが21会議室(3階中会議室)</b> <b>後援:滋賀県</b> <b>参加者数:32名</b>	<p><b>今、求められるコーズマーケティングとは！</b>  ～“寄付つき商品”的三方よし(企業等、消費者、社会)を考える～</p> <p>講師:久津摩和弘(山口県共同募金会)  坂井孝(有)かとう  さまざま企業とWIN &amp; WINの関係で寄付つき商品をつくる“募金百貨店プロジェクト”を立ち上げた山口県共同募金会の講師と、山口市内で寄付つき商品(かとうの赤い羽根弁当)をつくり、大きな実績を出している坂井孝さんから学んだ。  そのような事例を通して、求められるコーズマーケティングとは何かを考えた。  社会価値の向上と企業収益を両立させる手法についての具体的な方策等について意見交換があった。</p> 
<b>第三回</b> <b>2014年12月 7日</b> <b>(日)</b> <b>13:30～16:20</b> <b>県民交流センター</b> <b>305会議室</b> <b>共催:滋賀県・滋賀県国際協会</b> <b>参加者:35名</b>	<p><b>多文化共生の地域づくりセミナー</b>  未来ファンドおうみ助成事業2015募集説明会</p> <p>講師:土井佳彦(多文化共生リソース東海)  パネリスト:中澤美仟盛・大河原佳子  光田展子  国籍や民族などのことなる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうしながら、地域社会の構成員として共に生きていく、多文化共生の社会が求められている。  市民活動団体は、外国人住民や多文化共生の視点を持って活動していくことが大切である。  また、今回、多文化共生の地域づくりを支援していくための未来ファンドおうみ「ナカザワNEOフレンドシップ基金」が加わりましたので、新たな基金も含め、2015年募集説明会も併せて開催した。</p> 

日程・場所・運営体制・参加者数	テーマ・講師・概要
<p>第四回 2015年1月18日 (日) 10:00～16:30 県民交流センター 305会議室 参加者 38名</p>	<p>ファンドレイジングセミナー NPOのための志金を考える part2</p> <p>講師:徳永洋子(日本ファンドレイジング協会理事) 木村真樹(公益財団法人あいちコミュニティ財団)</p> <p>寄付集めの初心者向講座と、その後どのように集めていくかの講座を通して、参加した誰もが、多くの気づきや再認識を得られた。寄付集めにも人の心理的側面をよく理解した上で、アプローチすることが大切だと分かった。</p> <p>アンケートの結果、参加者38名ほぼ全員が講義内容に大変満足・満足としていた。</p> <p>また、自由記述にも講義内容の意義が感じられた。</p> <p style="text-align: right;">(以下、アンケト回答からの抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 寄付を集める側が気をつけるべきポイントをよく知ることができました。</li> <li>● とても、参考になりました。非常に内容が濃く、また、機会があれば参加したいと思います</li> <li>● 時間が短いと感じたセミナーは初めてです。とても勉強になりました。</li> <li>● 寄付集めの参考になりました。大変有意義な内容でした。</li> <li>● 大いに参考になりました。再学習し、自身のものとして理解を深めたい。</li> <li>● 熊本城「一口城主」など人の心を掘る訴求事例を多く示していただいた。実践に活かせる具体例と分かり易い解説で収穫の多い講座でした。</li> </ul>

## 2. 市民活動組織基盤強化事業 (2)市民活動支援事業

### ②女性のNPO活動等応援事業企画 女性のNPO活動応援事例集

地域の課題に気づき、強い想いを持ってNPOを立ちあげ、活躍している女性に、これまでの設立の経過と運営について取材を行った。

これから社会の問題解決に向き合い、事業を立ちあげて活動していくことで、世の中に貢献したいという想いのある女性を応援する事例集を作成した。

表題	<p>あなたが織りなす湖国の未来 ～社会を変える女性十色(といろ)物語～</p> 																				
内容	<p>(1)寄稿 「そうだったらしいのにな」を形にした女性達 浦坂純子さん(同志社大学教授)</p> <p>(2)座談会 「輝く女性で滋賀を元気に」 滋賀県内外で活躍している3人の女性 高 亜希さん(NPO法人ノーベル代表) 押栗泰代さん(NPO法人マイママセラピースタジオ代表) 岸田真代さん(NPO法人パートナーシップサポートセンター代表)</p> <p>(3)事例</p> <table> <tbody> <tr> <td>・NPO法人子ども自立の郷ウォームアップスクールここから</td> <td>唐子 恵子さん</td> </tr> <tr> <td>・NPO法人集</td> <td>川村 美津子さん</td> </tr> <tr> <td>・NPO法人ひだまり</td> <td>永田 かおりさん</td> </tr> <tr> <td>・NPO法人NPOぽぽハウス</td> <td>福井 久美子さん</td> </tr> <tr> <td>・NPO法人菜の花プロジェクトネットワーク</td> <td>藤井 紗子さん</td> </tr> <tr> <td>・NPO法人百菜劇場</td> <td>廣部 里美さん</td> </tr> <tr> <td>・NPO法人NPO子どもネットワーク天気村</td> <td>山田 貴子・辻 充子さん</td> </tr> <tr> <td>・NPO法人どこでも介護</td> <td>大西 友子さん</td> </tr> <tr> <td>・NPO法人チッチキンダーガーデン</td> <td>山口 育子さん</td> </tr> <tr> <td>・一般社団法人 比良里山クラブ</td> <td>三浦 美香さん</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4)資料 滋賀県内の主な相談窓口</p> <p>(5)あとがき 歌代事務局長</p>	・NPO法人子ども自立の郷ウォームアップスクールここから	唐子 恵子さん	・NPO法人集	川村 美津子さん	・NPO法人ひだまり	永田 かおりさん	・NPO法人NPOぽぽハウス	福井 久美子さん	・NPO法人菜の花プロジェクトネットワーク	藤井 紗子さん	・NPO法人百菜劇場	廣部 里美さん	・NPO法人NPO子どもネットワーク天気村	山田 貴子・辻 充子さん	・NPO法人どこでも介護	大西 友子さん	・NPO法人チッチキンダーガーデン	山口 育子さん	・一般社団法人 比良里山クラブ	三浦 美香さん
・NPO法人子ども自立の郷ウォームアップスクールここから	唐子 恵子さん																				
・NPO法人集	川村 美津子さん																				
・NPO法人ひだまり	永田 かおりさん																				
・NPO法人NPOぽぽハウス	福井 久美子さん																				
・NPO法人菜の花プロジェクトネットワーク	藤井 紗子さん																				
・NPO法人百菜劇場	廣部 里美さん																				
・NPO法人NPO子どもネットワーク天気村	山田 貴子・辻 充子さん																				
・NPO法人どこでも介護	大西 友子さん																				
・NPO法人チッチキンダーガーデン	山口 育子さん																				
・一般社団法人 比良里山クラブ	三浦 美香さん																				
発行 部数 配布先	<p>1月 1000部</p> <p>滋賀県庁担当課、男女共同参画センター、県内市町NPO活動担当課 県内市町男女共同参画課、県内図書館、県内NPO支援センター、他</p>																				

## 2. 市民活動組織基盤強化事業 (2)市民活動支援事業

### ②女性のNPO活動等応援事業企画 女性社会参画支援(委託事業)

今回の調査では、NPOの雇用と、NPOの立ち上げ時の実態を把握することから、女性の自己実現を可能にする働き方や、社会貢献できる働き方などを探し、これからの女性支援に役立てていくことを目的とした。

○ 調査の方法	
アンケート	NPO(活動)等への女性の社会参画を進めるための雇用実態調査(アンケート)  ○ 調査対象:滋賀県内に事務所を置く特定非営利活動法人 591団体 ○ 当センターと関わる一般社団法人 14団体 ○ 調査方法:質問紙郵送法 ○ 実施期間:平成26年9月14日～10月20日 ○ 発送・回収:発送法人数 605団体(19団体不達) 回収法人数 194団体 有効回答数 183団体(有効回答率31%)
聞き取り調査	NPO(活動)等への女性の社会参画を進めるための支援ニーズ調査 (聞き取り調査)  ○ 調査対象:アンケート回答団体から女性が設立され、運営されている法人を30団体抽出 ○ 調査方法:職員で手分けして法人へ訪問し、聞き取り調査を行う 1団体1時間から2時間 ○ 実施期間:10月～11月

### ○アンケート及びヒアリングから見えてきたもの

NPO立ちあげ時における横断的、初步的相談窓口の必要性

安定した雇用を創出するためのさまざまな支援の必要性

- ・ 様々な角度からNPO評価を行い、多様な存在意義のあるNPO支援
- ・ 設立当初からの運営・事業両面でのフォロー
- ・ 分野を超えた行政の窓口対応
- ・ 事業資金融資獲得に向けた支援

情報交換・交流の機会づくり

NPO関係者の報賞事業の開発

### ○ 報告書の作成

アンケート結果・聞き取り調査結果は、A433ページの報告書にまとめ、アンケート調査票及  
アンケート調査単純集計表及び、聞き取り調査票及び集計表も資料として添付した。

### 3. 人材育成事業～第13期おうみ未来塾の開催・運営～

#### 開講準備

2014年3月～5月

#### ■塾生募集広報・PR

#### ■募集説明会

6カ所で開催  
参加者28名

#### ■応募者面談会

4月29日開催  
応募者25名  
(選考途中1名辞退)

#### ■入塾選考

選考24名  
入塾者22名

創造実践コース  
(2年次グループ活動)  
2015年1月～11月

#### ■グループ活動目標発表会

2月28日開催

#### ■グループ活動中間報告会

6月28日開催予定

#### ■グループ活動成果発会・ 卒塾式

12月12日開催予定

#### 基礎実践コース(1年次講義)

2014年6月～

#### ■入塾式 6月8日開催

開講記念講義 「おうみ未来塾がめざしてきたもの」 講師:北村裕明

開講記念トーク 「地域づくり～さまざまな語らい～」

講師:岡崎昌之、岸田真代、藤井絢子

#### ■本講座 全9回(第8回まで終了)

【第1回 (コラボしが21) 7月5日】テーマ:「地域プロデューサーの時代」

講師:北村裕明、大河原佳子(卒塾生/甲賀市国際交流協会事務局)、  
大平正道(あいこうか市民活動ボランティアセンターコーディネーター)、  
藪下利男(12期卒塾生/「鹿深deござれ！」メンバー)

【第2回 (甲賀市) 7月26日】テーマ:「地域をプロデュースするとは」

講師:岡崎昌之、東房男(滋賀県近江八幡市白王町集落営農組合組合長／  
権座・水郷を守り育てる会会長)、大西實(滋賀県近江八幡市白王町集  
落営農組合副組合長／権座・水郷をも守り育てる会事務局長)

【第3回 (高島市) 8月23日～8月24日合宿】

テーマ:「新しい価値観による地域づくり」

講師:美濃部武彦(針江生水の郷委員会会長)、前川正彦(NPO法人高島  
トレイルクラブ代表/マキノ高原観光株式会社代表取締役支配人)

【第4回 (米原市) 9月27日】

テーマ:「多様な主体の協働による地域づくり社会づくり」

講師:岸田真代、藤田知丈(7期卒塾生/「ひょうたんからKO-MA】メンバー)、  
長阪靜(12期卒塾生/「古ゞ屋」メンバー)

【第5回 (東近江市) 10月26日】テーマ:「地域と共に創る」

講師:藤井絢子、野村正次(株式会社あいとうふるさと工房代表取締役／  
NPO法人愛のまちエコ俱楽部副理事／NPO法人まちづくりネット東近江代表)

【第6回 (大津市) 11月30日】テーマ:「地域課題解決のための事業計画づくり」

講師:中川芳江(Office SPES代表／一般社団法人ソーシャルビジネス・ネット  
ワーク理事)

【第7回 (大津市) 12月14日】テーマ:「グループづくりワーク」 自主研修

【第8回 (彦根市) 1月11日】テーマ:「地域診断法」

講師:鵜飼 修(滋賀県立大学 准教授)

【第9回 (大津市) 4月4日】テーマ:「リーダーシップと合意形成」 講師:岸田真代

#### ■サブ講座(塾生企画の講座) 2回

【第1回 (高島市) 8月23日午前、8月24日午後】テーマ:「気になる団体訪問」

講師:株式会社 澤村、山村和夫(一般社団法人エルギーたかしま理事長)、  
福井富久子(NPO法人FEC自給圏ネットワーク世話人代表)

【第2回 (守山市) 9月28日、(大津市) 10月10日、(草津市) 10月14日

テーマ:「卒塾生を囲む会」 卒塾生:7名

#### 【おうみ未来塾運営委員会】 5名

北村裕明(委員長、塾長)、岡崎昌之、岸田真代、藤井絢子、歌代泰和

おうみ未来塾運営委員会は、おうみ未来塾の運営に関する事を、その都度協議するために開催する。

## 創造実践コース（2年次グループ活動）2015年1月～11月

### ◎これまでの経過

2015年1月からは、創造実践コースが始まりました。地域プロデューサーのためのグループ活動として、塾生でテーマを設定し3つのグループに分かれての地域での活動を開始しました。

### ◎グループ活動の特徴

#### 1. キモチカエル@兵主

テーマ：「地域への無関心をLOVEに変える」

活動場所：野洲市 兵主

内容：地元の方が地域の良さに気付くようなきっかけをつくり、地域への想いがより強いものに変わる仕組みをつくる。現在、地域の方を巻き込んで兵主地区に伝わる地元の料理や特産品を用いたお弁当づくりを構想中。



(地域の方のご案内で兵主菜蕪の畑を見学)

#### 2. 草津ファン☆プロ

テーマ：「草津の魅力と人をつなぎ、地域参加のきっかけを作る！」

活動場所：草津市

内容：草津の素敵な人、素敵な場所を発見し、その魅力と一緒に発信し伝えられる人を増やしていく。地域活動に参加できていない方が、地域活動を気軽に始められる仕組みを考えながら実行する。



(Facebookにて草津宿場まつりの情報を発信)

#### 3. baseOtsu\_cross (ベースオオツクロス)

テーマ：「大津ナカマチ商店街に賑わいを取り戻す」

活動場所：大津市 ナカマチ商店街

内容：ナカマチ商店街の活性化につながる活動を、グループメンバーのネットワークを使って拡げていく。まずは、商店街の地元の方や同じ地区を活動場所としてきた卒塾生からの情報を収集することから始め、地域で開催される「大津百円商店街」への出店や「大津絵」を用いたワークショップの開催などを通じて、人の流れを生み出していく。



(地域の大津百円商店街の様子を調査)

#### 4. 未来ファンドおうみ事業 ~基金の運営、助成・表彰事業~

##### 2014年度寄付金受領額

基金名	寄付者名(敬称略)	金額(円)
おうみNPO活動基金	オムロン株式会社 草津事業所 外11	289,643
びわこの日基金	有限会社豆藤 外1	400,000
	循環型社会創造研究所えこら 外1	61,272
積水化成品基金	積水化成品工業株式会社	300,000
ナカザワNEOフレンドシップ基金	株式会社ナカザワ	1,000,000
淡海ネットワークセンター基金	石丸 正運 外1	15,000
<b>小計</b>		<b>2,065,915</b>

注1)表中の金額には、小口募金、預金利子は含まず  
注2)表中の金額は、ネットワークセンター運営基金を

##### 2014年度助成団体・助成額

※NPO法人

基金名	採択団体名	助成金額(円)
おうみNPO活動基金	※特定非営利活動法人リバティーウィメンズ・おりーぶ	500,000
	大津おやこ劇場	500,000
	※NPO法人甲賀の環境・里山元気会	980,000
びわこ市民活動応援基金	虎御前山古墳と中世城郭保全顕彰会	300,000
	おきしま倶楽部	300,000
	コミュニティサロンらんぶ	299,000
	※特定非営利活動法人ユウ・アンド・アイ	200,000
	※NPO法人愛のまちエコ倶楽部	164,000
	びわ湖の日基金	200,000
積水化成品基金 1件	せせらぎの郷	298,000
	※NPO法人甲賀の環境・里山元気会	200,000
笑顔あふれるコープしが基金	信楽うぐいす郷自然愛護の会	100,000
	湖西いきいきネットワーク	100,000
日本の元気なきずなプロジェクト基金	※NPO法人YASUほほえみクラブ	50,000
	※特定非営利活動法人元気な仲間	50,000

##### 2014年度助成事業

- 募集・審査 前年度末に実施済み
- 成果発表会 2014年5月18日開催
- 中間報告会・相談会 2014年10月12

##### 2015年度助成事業

- 募集要項の検討・作成
- 説明会の開催 5ヵ所
- 申請受付 12/2 ~ 1/25
- 第2次審査(公開プレゼンテーション)  
2015年3月7日(土)

##### 未来ファンドおうみ運営委員会

井手慎司(委員長)  
柴山直子  
辰巳勝則  
成瀬和子  
福井久美子

## ■未来ファンドおうみ助成事業2015審査状況について

※( )は、昨年の件数

### 1 応募申請総数について

39団体 (29団体)

### 2. 申請内訳

おうみNPO活動基金助成	6団体	( 6団体)
びわこ市民活動応援基金助成	10団体	( 13団体)
びわ湖の日基金助成	4団体	( 2団体)
積水化成品基金助成	1団体	( 1団体)
笑顔あふれるコーピしが基金	6団体	( 5団体)
ナカザワNPOフレンドシップ基金	8団体	( 新 )
日本の元気なきずなプロジェクト基金	4団体	( 2団体)
おうみチャレンジ基金	0団体	( 0団体)
	合計 39団体	( 29団体)

### 3. 採択団体数・助成額

おうみNPO活動基金助成	2団体	1,000,000円
びわこ市民活動応援基金助成	6団体	1,393,000円
びわ湖の日基金助成	1団体	280,000円
積水化成品基金助成	1団体	200,000円
笑顔あふれるコーピしが基金	4団体	300,000円
ナカザワNPOフレンドシップ基金	6団体	415,000円
日本の元気なきずなプロジェクト基金	2団体	副賞 100,000円
	計	22団体



3月7日（土）開催の公開プレゼンテーション

## ■『おうみ良うなる！元気商品』ロゴマーク募集について

### 1 趣 旨

『おうみ良うなる！元気商品プロジェクト』は、未来ファンドおうみへの寄付を募るための一環として行うもので、企業と当財団がWIN&WINの関係で寄付つき商品をつくり、消費者が寄付つき商品（おうみ良うなる！元気商品）を購入することにより、地域づくりへの想いや願いを実現し、おうみ（滋賀）の地域社会をもっと良くしていこうと始めるものであります。

そこで、今回、寄付つき商品（おうみ良うなる！元気商品）が店頭等にならび、本プロジェクトがより多くの消費者にアピールできるロゴマークを募集しました。

#### 1. 募集期間

平成26年12月12日（金）～ 平成27年2月28日（土）

#### 2. 応募者数

68人

#### 3. 応募総数

86件

#### 4. 最優秀作品

天木 巧さん（川崎市）



## 5. 会議、活動

### (1) 理事会・評議員会開催経過

日時	区分	主な内容
4月1日(火)	第9回評議員会 (書面表決)	・評議員、理事の選任について 評議員 吉浜→大塚 理事 中井→澤田
5月30日(金)	第12回理事会	・2013年度事業報告 ・2013年度決算報告 ・評議員会の招集 ・理事候補者
6月12日(木)	第10回評議員会	・2013年度決算関係の承認 ・評議員、理事の選任
12月12日(金)	第13回理事会	・2014年度補正予算 ・職務執行状況の報告 ・次期中期計画について
3月26日(木)	第14回理事会	・2014年度補正予算 ・2015年度事業計画および収支予算 の承認 ・次期中期計画の承認 ・職務執行状況の報告

(2)外部委員、研修

月	日	外部委員、研修
4月	1日	新年スタート
	16日	淡海フィナンソロピー運営委員会出席(歌代)
	19日	湖南市きらめき湖南審査会(遠藤)
5月	9日	オムロン株式会社寄付贈呈式
	17日	守山市協働提案審査会(遠藤)
	21日	内外情勢調査会月例会参加(歌代)
	25日	歴まち大津キックオフフォーラム出席(歌代)
	27日	滋賀グリーン購入ネットワーク総会出席(遠藤)
	29日	草津市協働報告会・説明会出席(遠藤)
	29日	県報告書等説明会参加
6月	4日	職員HP学習会
	13日	(公財)国際協会審査会出席(村井)
	17日	災害ボランティアセンターセンター運営委員会出席(村井)
	18日	フィナンソロピーネット運営委員会出席(歌代)
	20日	社会福祉学会実行員会出席(歌代)
	24日	滋賀の地域円卓会議出席(遠藤)
	27日	内外情勢調査会月例会出席(歌代)
7月	2日	能登川コミュニティセンター講座 これからの地域自治を考える会出席(遠藤)
	3日	災害ボランティアセンターセンター運営委員会協議会出席(村井)
	10日	寄付つき商品職員学習会
	14日	守山市まちづくり提案審査会出席(遠藤)
	15日 ・16日	NPO支援センター初任者研修会2014参加
	19日	文化ビジネス塾参加(歌代)
	28日	内外情勢調査会出席(歌代)
	29日	しが☆まなび発見出展
	31日	株式会社ナカザワ寄付贈呈式・記者発表 しが学校支援メニューフェア出展

月	日	外部委員、研修
8月	1日	「人が集まる・行列のできる講座」参加
	2日	歴まち大津2ndフォーラム
	5日	草津市こども環境会議実行委員会
	7日	近江通商(株)感謝状贈呈
	8日	株式会社AINズSH会議出席(遠藤)
	20日	フィランソロピーネット総会出席(歌代)
	22日	長浜市第1回本庁跡地整備基本構想検討会議出席(澤)
	26日	平成26年度第1回滋賀県災害ボランティアセンター運営協議会担当者会議出席(澤)
	29日	長浜市市民協働推進会議出席(歌代) 草津市こども環境会議実行委員会出席(歌代) 草津市協働提案審査会出席(遠藤)
9月	17日	フィランソロピーネット運営委員会出席(歌代)
	19日	草津市こども環境会議実行委員会出席(歌代)
	20日	山元圭太さん講演会参加
	21日	平成26年度滋賀県総合防災訓練出席(澤)
10月	1日	長浜市第2回本庁跡地整備基本構想検討会議出席(澤)
	4日	NPO法人甲賀の環境・里山元気会設立10周年記念式典参加
	15日	女性活躍推進フォーラム参加 近江八幡助成審査出席(牧野)
	17日	内外情勢調査会月例会出席(歌代)
	19日	G-netさんかく塾参加
	24日	草津市こども環境会議実行委員会出席(歌代) 長浜市第3回本庁跡地整備基本構想検討会議出席(澤)
11月	11日	積水化成品株式会社寄付受領式
	14日	NPO法人事務力検定セミナー参加
	16日	甲賀市協働審査会出席(遠藤)
	17日	草津市こども環境会議実行委員会出席(歌代)
	18日	滋賀県国体準備室委員会出席(歌代)
	20日	つながり研究会出席(歌代)
	21日	内外情勢調査会出席(歌代)
	26日	長浜市第5回本庁跡地整備基本構想検討会議出席(澤)
	28日	長浜市市民活動団体支援事業及び地域づくり協議会提案事業公開プレゼンテーション審査会出席(歌代)

月	日	外部委員、研修
12月	6日	NPO法人会計セミナー参加
	13日	草津市ひとまちキラリ審査会出席(歌代)
	17日	公益法人会計セミナー参加
	27日	NPO法人会計セミナー参加
1月	8日	KNN研究会出席(澤、牧野)
	15日	都市計画セミナー参加
	19日	協働環境調査報告会参加
	20日	草津こども環境会議実行委員会出席(歌代)
	21日	循環型社会創造研究所えこら寄付金受領式
	23日	公益法人セミナー参加
	27日	滋賀県国体準備室委員会出席(歌代)
	31日	草津市こども環境会議出席(歌代)
2月	7日	地方共助社会づくり懇談会出展
	11日	文化経済フォーラム滋賀総会出席(歌代)
	14日 ・15日	ファンドレイジング日本2015参加
	19日	協働環境報告会参加
	21日	NPO女性Gネットフォーラム出展
	22日	市民協働の除雪支援を考えるフォーラム参加
	25日	公益法人決算セミナー参加 長浜市協働推進委員会出席(歌代)
3月	5日	湖南市市民活動講座(遠藤)
	13日	フィランソロピーネットトップセミナー出席(歌代)
	14日	草津市ひとまちキラリ審査会出席(歌代)
	18日	長浜市第6回本庁跡地整備基本構想検討会議出席(澤)
	24日	滋賀県国体準備室委員会出席(歌代)
	25日	「電気と熱の地産地消スマートグリッドシステムの開発」参加
	27日	滋賀県国体準備室委員会出席(歌代)